

令和元年度 地域課題研究発表会 平成30年度研究報告

新潟県立看護大学では、県内の保健・医療・福祉に携わる看護職と本学教員が、看護実践における課題解決に向けた共同研究を行っています。発表はポスターセッション形式で行います。

演題

1.	慢性腎臓病保存期療養生活での患者の学び －血液透析導入後の患者の語りを通して－	新潟労災病院 松矢 春奈
2.	心臓リハビリテーション外来に通院困難な 急性冠症候群患者の退院後の生活状況	長岡赤十字病院 結城 真
3.	整形外科病棟における術後せん妄対策の変化 －術後せん妄アセスメントツールの活用を通して－	新潟医療生活協同組合 木戸病院 高橋 未来
4.	ケーススタディ研修における卒後2年目看護師の学びと気づき	県立中央病院 小山 洋恵
5.	産後の母親の精神状態とその背景の実態調査 －エジンバラ産後うつ病質問票を用いて－	上越総合病院 松枝 杏奈
6.	N市の短期入所生活介護施設における長期利用者の実態と 看護援助の課題	一般社団法人新潟市医師会在宅医療推進室 細道 奈穂子

日時 2019年10月 5 日(土) 14時10分～15時50分

会場 新潟県立看護大学 第2ホール
上越市新南町240番地（県立中央病院となり）

主催・お問い合わせ

公立大学法人新潟県立看護大学 看護研究交流センター
TEL/FAX 025-526-2822 <http://www.nirin.jp/>

